

# はばたけ

No. 29

栃木県警署の自立を促す会  
発行責任者 中山金央  
栃木市文庫15 023-23-2256  
発行日 1983. 7. 20

私達は  
隣室者が地蔵の人々と共に  
いさゝか生活している  
「村づくり」をすすめてい  
ます。

## 第七回総会を終えて

(文責、鈴木昭夫)

去る六月六日、大町公民館にて第七回定期総会を開きました。総会には十家族が参加し、子供たちのはしやぎ声のなか、活発な討論・質疑が行なわれました。すでに議案書は各会員に送られていますので、本号では討論の内容などいくつか紹介したいと思います。



一つは指導員の問題。  
今まで行なってきた日曜作業所やサマースクール、また今年二月の作業実習などを通じて、やはり親たち以外に専任の指導員がほしいとの願いは切実です。反面、指導員への報酬(賃金)はどう捻出するのかとの課題もあります。

二つ目は仲間(作業者)の問題。  
小規模作業所として申請するには市内で最低五名の仲間が必要ですが、来年度、市外を含めて三名は確定していますが、早急に仲間(障害児者)を掘り起こす必要があります。あわせて、自立の会の会員も大きく増やす必要があります。文責へ、



② 地域に根ざした運動を拡げるためにも、一つの拠点(福祉ショップ)として存続しては。たとえば、パートさんを入れては。③ 現在は、一部の人員に負担がかかりすぎるという問題。どうやって各会員を有機的に結びつけていったら良いのか。以前、畑を作っていた頃は、収穫祭などでは大勢の人数が楽しく参加してくれた。etc.後半では、新しくつくる「作業所」への期待と不安も率直に出されました。

冒頭、中山会長より  
「今年は自立の会として、いよいよ作業所づくりに取り組みます。・・・」  
腹を割って意見を言い合い、激論してしかも仲良く、一年を過ごしたいとの挨拶で始まりました。  
各報告のあと、質疑・討論。前半は「ゆうの家」の運営や位置付け、人員の配置などで意見が出されました。  
① 現在は、事務所兼・お店兼・作業所という多機能施設ですが、新しい作業所が出来た時、どう運営していくのか。

その他にも、作業科目はどうするか、運営はどうするか、財政的にはどうするのかなど、課題は山積みであることが確認されました。しかし、たとえ高認可であっても(そうなる確立は高

いのですが)、来年四月には作業所を開設するということを再度確認して、全会員の協力をお願いして総会を閉じました。



## 職場実習を終えて

殿塚 ケイ子

六月十四日から七月二日までの三週間、早苗さん、はる恵の行はじめての現場実習を「ゆうの家」で行なっていました。三週間の長丁場をどう作業していくか心配しましたが、内容的には新聞を折りそれを発送に郵便局へ、お手玉(ペレット入れ)づくり、フキンの袋づくり、お盆の道具づくりなど、バラエティに富んだ作業でしたので、飽きることもなくその場で、自分なりに工夫して頑張る姿には感心しました。やはり以前からやっていたる仕事は要領を覚えていた、すぐにとりかかれるのには驚きました。また、学校での作業がずいぶん身につけて子供たちの

仕事への意欲が感じられました。一週間後の二十一日から山中和江さんが加わり三人になりました。和江さんは、話がよくなるので、冗談を言いはじめたり、会話がはずみ、自然と作業にも力が入り、楽しく二週間が過ぎました。実習している間に、両学校の先生はじめ、作業を手伝いに来てくださった方々に感謝しています。また、「今日はお店開いているんだね」と言



## 法人施設の進捗状況 「親の会」と調査会とが 連携した活動を!

栃木市投産施設等建設調査会は、三月一七・一八日施設見学を実施して、来、その動きがない。理事長の決定、理事者の決定、施設長の決定、定款の検討などが、最も施設の中核たるもの決定がなされていない。  
何よりも市行政の態度の暖昧さがそこさせているとの考えもあるが、基本的なところでの意志の統一の不十分さ(行政内部と調査会内部それぞれ)、会議回数の不足、事務局の組織的動きなどの欠落があると思う。  
今後は、今日まで市議会の中でも市長は前向きな発言があるのだから、直ちにその確認をすべきであるし、何よりも調査会を建設準備会にして、現在の構成メンバーを拡大し、先般検討した理事者名簿の公開発表と、早期の会議の開催、事務局構成をして具体的な事項の検討をしていく必要性を特に痛感する。この点を明確にすれば、理事者

今後の日程

93年  
7月21日 AM10:00  
~31日 ~PM 3:00  
(7月30日~8月1日)

8月 4日 PM 7:30 ~  
7日 PM 7:30 ~

8月 1日 PM 7:30 ~  
4日 PM 7:30 ~  
19日 AM10:00 ~

サマー  
スクール  
全障研第27回全国大会  
(新潟)  
事務局会議  
役員会 (事務所)  
事務局会議  
役員会 (事務所)  
日曜作業所

ご協力ありがとうございました。  
(順不同・敬称略)

柴田 末吉 田上 徳子 知久 邦子  
山田 恵美 鈴木 節子 岡村 公代  
星野 和枝 若色 昭松 大出 文子  
皆川 博子 斉藤 樹木おやこ劇場  
樹木コープ園部町店 ディスカスれん太スタジオ



夏期物品販売にご協力を!  
好評  
三輪そうめん (1,000円  
2,000円  
3,000円)  
いねささ  
ちひろTシャツ  
こびし用 1,600円  
大人用 2,300円  
各種あります。



バザー用品、集めます。  
9月または10月に  
作業所開設大バザー  
を計画します。

お部屋にねむっている  
日用雑貨、古着、古本 etc  
何でも、けっこうです。  
自立の会にお寄せ下さい。

仲よしね

桜井 みさこ

四月から  
新しく仲間に入った  
みさこちゃん(小六)です。  
お母さんの政江さんからの紹介です。  
春うららかな気候に生まれたミーチ  
ヤンです。その年は家庭では色々な事  
が重なって、とても大変な月日を通  
してきました。今では少しづつ私と親  
が一体となり、勉強と努力をして生  
きています。苦しいことばかりでな  
く、楽しい事を思い、生活をしていま  
す。年ごとに、小さい私も何でも食べら  
れて、外出・ドライブに出掛けられ



ようになり、体に十分に気をつけて頑  
張っております。これからも一杯頑  
張ってまいりますので、皆さん仲良くし  
てくださいね。



お、自立の会では、  
二期(11/8、11/27)、  
三期(1/24、2/10)、  
にも職場実習を予定してい  
ます。今度は新しい作業所  
にて行なう予定。皆さんの  
ご協力をお願いします。

ば早かったと思いますが、ほとんど親  
子一緒だったので、親の私には少々き  
つかったのは実感です。親子では少々  
お互いに甘えや感情が先に出て、指導  
するにももろづかしいものがあります。  
一日も早く指導者を望みます。

が努力しなければならぬ部分と、現  
在会議を重ねている関係諸団体(通称  
「親の会」=タンボボ、めぐみ作業所  
親の会、りんごの会、育成会、自立の  
会、他二団体)が努力しなければなら  
ないものと区別されていくと思う。  
建設資金の不足と言うが、当初の計画  
が具体的に進行しなかったことも今  
まで述べたことを進めなかったことに起  
因していると思う。調査会会長の金坂  
氏は現在海外研修中でもあるので、帰  
国後、早急に会議を召集し、検討され  
るものと思う。  
現在、関係諸団体(親の会)が集ま  
り、現在まで進行している内容につ  
いて意見交換をしている。親として、す  
べての子供が推賞されるよう互いに努  
力しよう、広く市民に理解してもら  
うよう募金・署名をしよう、授産施設が  
必要な訴など、もっと学習をしよう。  
イベントやバザーをしよう。など、現  
在月二回のペースで開催している。  
こうした内容を調査会に提出して、連  
携をとって、今後は活動をしていき  
たいと考えている。

中山 全央